



田尻町議会だより

たじりの風

9023

Vol.115

平成30(2018)年
6月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



5月22日(火)と23日(水)の2日間、コンパクトタウン議会サミットが開催され、全国から16町議会、134名の議会議員が田尻町に集いました。



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 6 頁
- ★ 視察報告・審議結果 9 頁
- ★ 表彰・この人にインタビュー 10 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 大学進学に支援金の検討を
- 金田 裕治 議員 1. 地区会加入者へのごみ袋配布を
- 吉開 育子 議員 1. 小、中学校給食費の無償化を
2. 乳腺エコー検査の実施と助成を求める
- 小川 雄司 議員 1. 嘉祥寺縄添地区へ中学校の移転拡張を提唱
2. 吉見ノ里駅大阪側の踏切歩道の拡幅を
- 坂口 実 議員 1. 総合計画について問う
2. 自主防災組織との連携を
- 中川 達夫 議員 1. ふれ愛センター二階厨房室の再開を望む
- 東 小夜子 議員 1. タクシー券を支給しては
2. 防災対策を女性視点で

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 大学進学に支援金の検討を

答 田尻町独自の取り組みは必要ないと考えている

問 現在高等学校の授業料は公立私立を問わずほぼ無償化されている。しかし、大学進学を希望していても、経済的理由により進学が困難な家庭がある。国において非課税世帯に対する奨学金制度があるが、十分な支援体制だとは言い難い。また、日本学生支援機構などの貸付式の奨学金を利用している世帯が約50%になるなど、大学進学に対しての経済的負担が大きいのが現状である。

そこで、田尻町として返還の必要ない給付型の支援金を交付し、大学等への進学を後押ししてはどうか。

答 **学事課長** 国としては、経済的な理由により就学に困難があるすぐれた学生等に対し、教育の機会均等及び人材育成の観点から経済的支援を行う重要な教育政策として奨学金事業がある。文部科学省は、平成29年度より経済的な理由で進学を断念することがないように、給付型奨学金事業を開始している。また、無利子の奨学金の拡充を図り、住民税非課税世帯のこどもたちには従来の成績基準を実質的に撤廃し、必要とする全てのこどもたちが無利子の奨学金を受けられるよう必要十分な対応がされている。田尻町として独自の取り組みは必要ないと考えている。



金田 裕治 議員

問 地区会加入者へのごみ袋配布を

答 泉佐野市での効果が薄く、導入に至っていない

問 町長の公約である地区会加入者へのごみ袋配布の進捗状況はどうなっているのか。

答 企画人権課長 先行して実施している泉佐野市において、加入率の上昇につながっておらず、ごみ減量化に影響を及ぼす施策であることから、本町では導入にいたっていない。

問 町長の公約であるが、実施しないということか。

答 町長 地区会の方と話をする中でも、ぜひやって欲しいという声がない。まず、自分たちで1軒でも増やそうという意欲がないと前へ進まない。



吉開 育子 議員

問 小中学校給食費の無償化を

答 国の動向を見て進める

問 栗山町長は公約に「幼・小・中学校の給食費の無償化」を掲げている。30年度からは、3～5歳の保育料を給食費を含めて無償化するとあり、幼稚園だけが給食費が無償となる。小・中学校は、給食メニューを4品目から5品目へ増やし、あらたな保護者負担はないが無償化にしないのはなぜか。兵庫県相生市では、保護者が給食費の免除申請を教育長に提出し、教育長がそれを認め無償にしており、学校給食法を守って無償化にする方法がある。田尻町もその方法で無償化を検討すべき。また、0～2歳までの給食費を無償化にしないのはなぜか。

答 学事課長 学校給食法では給食材料費は保護者負担となっているが、全国の自治体の3%が無償化している。国も調査しており動向を見て対応したい。

答 こども課長 幼稚園教育は3～5歳児であり0～2歳児は在籍していないので、無償化は3～5歳の幼稚園児と保育所児となる。

答 町長 3～5歳は学校給食法の対象になっておらず無償化した。小・中学校給食の無償化は国の動向を見て進めたい。

問 乳腺エコー検査の実施と助成を求める

答 効果を判断し行政としてすすめない

問 「乳がん検診は2年に1回、40歳以上となっているが年齢を下げしてほしい」と共産党のアンケートに要望が寄せられた。兵庫県加古川市では、30～39歳を対象にエコー検査を毎年3000円で受けられるよう助成している。田尻町も実施を。

答 健康課長 30歳代の乳がん罹患率、死亡率減少効果の検証が少なく発見率や効果を判断し、行政として進めることはできない。



小川 雄司 議員

問 嘉祥寺縄添地区へ中学校の移転拡張を提唱

答 現時点で中学校の移転は考えていない

問 現在、小中学校の敷地合計は、1.3ha。縄添地区全体は37.59ha、3片に分かれ、南海電鉄羽倉崎車検区前は12.25haあります。田尻町の将来を考えると、市街化調整区域を市街化に編入し住宅開発をすすめるのであれば将来の人口減は確実だと考える。中学校移転を核とした区画整理事業を行うことを求めます。

答 昭和60年当時には中学校の移転構想があったが、現在の総合計画は、現在の学校施設の改修を含め最大限にいかすこととなっており、現時点で中学校の移転は考えていません。

問 吉見ノ里駅大阪側の踏切歩道の幅を

答 基本構想にもとづき前進させたい

問 「事故が起こってからでは遅い」と吉見ノ里駅の大阪側踏切歩道の幅を求める声です。現在、吉見ノ里駅前基本構想づくりがあるが、これまで南海電鉄と交渉して実現しなかった大阪側の踏切歩道の幅がやはり大きな課題です。

答 現在、策定中の基本構想にもとづき、南海電鉄や警察など関係機関と協議を重ね駅前周辺整備を着実にすすめるなかで、大阪側の踏切歩道の幅を前進させたい。



坂口 実 議員

問 自主防災組織との連携を

答 組織のあり方を見直す

問 避難所開設訓練、地震、大火、河川決壊、ゲリラ豪雨等、実際に役立つ訓練の実施と自主防災組織主催の訓練を町が支援し、各隣保班ごとの実際に役立つ訓練を自主防災組織と協力し実現できるよう要望する。

答 **危機管理課長** 今年度は避難所開設訓練を計画をしている。避難所開設は、災害の有事には、職員の派遣が困難な場合は、自主防災組織の役員の方などが開設者となり、町民の皆さんが主体とならざるを得なくなる。自主防災組織へ一人でも多く参加するのが前提、各自治区の自主防災会の役員がまず参加し、そのリーダーの育成を進める。組織のあり方も並行して、今の3地区の形態が本当にいいのか、今年度はそういうことも変更しながら組織のあり方を見直す。

問 総合計画について問う

答 将来像を掲げて施策の方向性を定める

問 大阪府は総合計画策定をやめている。選挙で選ばれた首長がマニフェストを掲げて信任を得ている。時の町長の公約を妨げる可能性がある。抽象的な表現が目立ち、目標が数値化されておらず進捗結果が不明である。総合計画策定審議会委員数が15名、その中に議員が入っていない。泉南市、熊取町、岬町は議員が参画している。議会改革委員会で検討を要望する。私の議会報告会で、70億円の基金を住民へ投資して欲しい。その住民の生の声を議論する懇話会を、この総合計画策定までに設定しよう町長に要望する。

答 現計画期間は平成22年度から31年度まで、まちづくりの根幹を成す計画であり、将来像を掲げて施策の方向性を定める。平成19年に議員と協議し指針により、現在は議員は不参画である。



中川 達夫 議員

問 ふれ愛センター二階厨房室の再開を望む

答 来年度事業計画を策定する予定

問 栗山町長はふれ愛センターを8000人の大家族と皆の交流場所と位置づけ、土日開放している。皆が健康で楽しい食事をとることで将来食事により介護保険料の値上の抑制につながる。その為にもふれ愛センターでの厨房再開を望む。

答 福祉課長 来年度は事業実施に向けた現況調査、施設利用予測等の算定を業者委託し、厨房部分を含めた活用方法を検討する。介護予防での観点から直接的に食堂が介護予防につながる事は考えていない。

答 町長 今ふれ愛センターでは、介護保険の抑制の一つとして実施している、運動・サークル活動・講座等により運動の機能向上や社会的なつながりが出来ている。さらに、まずは参加するシステムをつくっていく事が大切と考えている。



東 小夜子 議員

問 タクシー券を支給しては

答 利用者ニーズを検証して検討する

問 外出支援し、社会参加の機会を持つことができるように、タクシー券を支給しては。

答 福祉課長 高齢者などの移動支援対策には、まずはコミュニティバス運行に向けた準備を進め、タクシー料金助成事業については、利用者ニーズの動向を検証した上で検討する。



問 防災対策を女性視点で

答 町として考える

問 日常生活の中で無理なく取り組める防災対策を女性視点で考え、住民に啓発するべきでは。東京都の「東京くらし防災」を田尻町でも作成しては。

答 危機管理課長 防災計画やマニュアルを検討するには、女性はじめ多様な視点を盛り込み周知啓発する。日常生活の中にちょっとした工夫が入っている冊子であり、町としても考える。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 坂口 実

審査結果、並びに経過報告（3月8日開催）

- ◎田尻町職員旅費条例一部改正の件
（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 本条例一部改正による効果額は。

答 3年間で約20万円程度である。

- ◎大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件
（条例等の一部改正） 【全会一致で可決】

問 大阪広域水道企業団への経営統合について、現時点で表明している団体は他にあるのか。

答 平成29年度に統合した3団体に、平成31年からは田尻町を含む7団体を加え、10団体が経営統合する予定となる。現時点では、正式に統合するという意思表示をしている団体はないものの、企業団において統合に向けて機運を高めるため、勉強会や意見交換を行っていることを確認している。

- ◎田尻町一般会計補正予算（第9号）の件
【全会一致で可決】

問 公共施設等維持整備基金に52億円を積み立てるに至った経緯は。

答 公共施設の総合的かつ計画的な管理を行うために策定した公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点に立ち、財政負担の軽減や平準化、事業費に係る財源の確保を図る必要があることから、今回の補正予算で基金に積み立てるものである。

財政調整基金の額については、標準財政規模の2割程度の財政調整基金が必要という考え方があり、本町においては不交付団体という事からその2年分、4割程度の財政調整基金が必要であるとしたうえで、残りを公共施設等維持整備基金に積み立てるものである。

問 公共施設等維持整備基金に52億円を積み立てると、財政調整基金額が約16億円となるが、今後単年度に黒字があった場合、その分については全て公共施設等維持整備基金に積み立てるのか。

答 地方財政法に基づき、まずは財政調整基金に積み立て、その後、財政状況等を勘案し、公共施設

等維持整備基金に積み立てるかどうか検討する。

- ◎平成29年度水道事業会計補正予算（第2号）の件
【全会一致で可決】

問 覚書による灌漑用水確保のための補償額と今後の考えについては。

答 平成29年度実績で130万円支出しているが、今後においては、町農政全般の中で、水源確保について検討し、判断していきたい。

文教厚生常任委員会

委員長 中川 達夫

審査結果、並びに経過報告（3月9日開催）

- ◎田尻町指定居宅介護支援事業者の指定に関する基準並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件
（条例の制定） 【全会一致で可決】

問 指定居宅介護支援事業者とはどのような事業所で、町内に何か所あるのか。

答 ケアプランを策定する事業所で、3事業所ある。

- ◎田尻町後期高齢者医療に関する条例一部改正の件
（条例等の一部改正） 【全会一致で可決】

問 本改正により新たに住所地特例を受けている住民は何人いるのか。

答 国民健康保険において、2人の者が住所地特例を受けているが、後期高齢者医療の対象者ではないので、対象者はいない。

- ◎田尻町介護保険条例一部改正の件
（条例の一部改正） 【賛成5、反対4で可決】

問 第7期介護保険料の算定に当たり、居場所づくり事業を特別会計から一般会計の事業へ変更する等保険料抑制策を講じたものの、府下第2位の高額となった。

そのため、介護予防支援サポーター事業の拡充によるポイントの付与など考えてくれてはいるが、参加できない高齢者もいることから、一般会計からの繰入金により保険料を抑制すべきと考える。また、それが難しいなら、敬老年金の復活など他の一般施策で対応すべきと思うがどうか。

答 一般会計からの繰り入れにより保険料を抑制する方法が一番簡単であるが、本町の場合、高齢者に占める後期高齢者の割合が府内でトップであり、今後においても要介護率が高くなる75歳以上の高齢者の割合が急速に増加する見込みであるこ

予算特別委員会

委員長 仁 部 順 行

とから、保険料の上昇は続くものと考えられ、介護予防、健康増進策等により保険料を抑制していく必要がある。

又、要介護の方の中にはポイントの付与を受けられない方もいるかも知れないが、そういった方は、1割の負担で介護サービスを利用されている方であり、喜ばれている。

問 本町の介護認定基準は少し厳しく、再度認定を取り直すという事例を聞くが、費用がかかり保険料が上がる要因になっているのではないか。

答 介護認定の審査については、国の基準により適正に行っている。区分申請があれば、再度の調査や医師意見書の聴取など費用が発生するが、全て一般会計からの繰り入れで対応しており保険料には影響がない。

問 町として認知症対策は講じているのか。

答 認知症高齢者への支援については、策定中の「第7期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の中で重要項目の一つとして位置付けている。認知症予防としては、アイパッドを利用した脳トレ教室、支援策としては、認知症初期集中支援チームによるサポート、また認知症サポーター養成講座を毎年実施している。

反対討論 第7期介護保険料の決定に当たり、一定の保険料抑制策を講じたものの府内第2位の保険料となった。

財政力が府内1位ということから、一般会計からの繰り入れや、敬老年金の復活により保険料を抑制すべきと考える。

なお、介護予防支援サポーター事業の拡充によるポイントの付与など考えてはいるが、サービスを受けている高齢者の参加は難しく、介護保険料の実質的負担が軽減されることを期待し反対する。

賛成討論 今回、保険料の抑制に当たり、予防策を講じて、皆が健康になり、全体的な費用を下げていくというところに重点を置いていることから賛成する。

◎平成29年度田尻町一般会計補正予算(第9号)の件 【全会一致で可決】

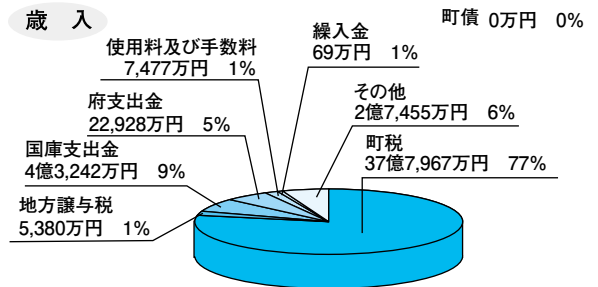
問 中学校費で計上されている非構造部材耐震改修工事の内容は。

答 平成30年度に実施する予定であった体育館天井部の耐震改修工事を平成29年度に予算措置し繰越しすることにより、国庫交付金が充当されることとなるための補正予算である。

審査結果、並びに経過報告

(3月12・13日開催)

◎平成30年度田尻町一般会計予算の件 ・48億9,300万円 【全会一致で可決】

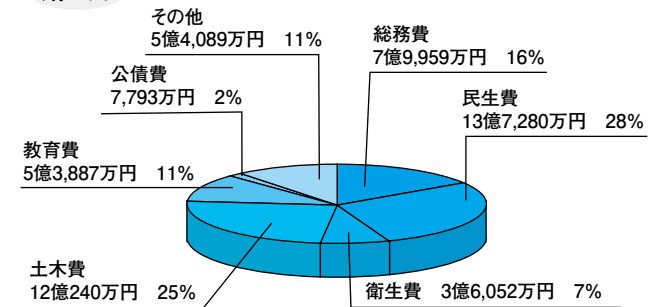


歳入

問 閑空関連と思われる税収はどれほどか。

答 閑空関連の税収については、合計で30億4,600万円となっており、町税全体の約80%である。

歳出



賛成討論 仮称) りんくうポート北広場整備事業や3歳から5歳児の幼児教育及び給食費の無償化、切れ目のない産後ケアの充実など積極的な予算を計上しているものの、コミュニティバス運行事業に関しては、町が過去に直営で実施したコミュニティバス運行の経緯を踏まえ、試験運行を行うなど慎重に実施することを要望する。

◎平成30年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算の件

・7億9,423万6千円 【全会一致で可決】

問 被保険者数の減少の要因は。

答 被保険者数の減少の主な理由は、後期高齢者医療制度への移行と、社会保険への加入が主な要因となっている。

委員会報告

◎平成30年度田尻町後期高齢者医療特別会計予算の件

・ 1億1,570万3千円 【全会一致で可決】

問 政府は来年度初めて軽減措置の廃止を打ち出したが、本町では該当する方は何人いるのか。

答 所得割の5割軽減の方が現在335名いる。

◎平成30年度田尻町介護保険特別会計予算の件

・ 7億3,236万8千円 【賛成5、反対4で可決】

問 低所得者保険料軽減繰入金185万9,000円の内容は。

答 第1段階保険料を、0.5から0.45へ引き下げ、金額にして4,050円の引き下げに係る軽減分である。

反対討論 第7期介護保険料は、府内において2番目に高い保険料となった。保険料抑制策として、介護予防支援サポーター事業の拡充など評価できるものの、介護保険料そのものの負担軽減策は行っておらず不服である。金額にして4,050円の引き下げに係る軽減分である。

◎平成30年度田尻町下水道事業特別会計予算の件
・ 8億8,810万5千円 【全会一致で可決】

問 吉見ポンプ場長寿命化対策工事が1億1,150万円で30年度事業としては一番大きいですが、長寿命化対策工事は何年度まで行うのか。

答 現在の計画は24年度に策定しているもので、32年度までの期間において各種設備について長寿命化対策工事を行う。

◎平成30年度田尻町水道事業会計予算の件

・ 2億9,513万7千円 【全会一致で可決】

問 田尻スカイブリッジの耐震補強事業に伴う添架水道管移設工事とはどのようなものか。

答 大阪府において、橋脚の耐震補強工事が行われる予定。田尻水道管を含む橋脚に添架している占用物件について移設依頼があった。田尻浄水場から北りんくうに供給している水道管を、耐震補強工事に支障のないところに移設工事を行うもの。

田尻町議会各種役員一覧表

議 長	明 貝 一 平	副議長	金 田 裕 治
-----	---------	-----	---------

総務建設常任委員会	Ⓜ仁部順行	Ⓜ吉開育子	中川達夫・小林健治・金田裕治
文教厚生常任委員会	Ⓜ大門久恭	Ⓜ東小夜子	明貝一平・小川雄司・坂口 実
議会運営委員会	Ⓜ小川雄司	Ⓜ中川達夫	明貝一平・東小夜子・大門久恭
空港関連対策特別委員会	Ⓜ小林健治	Ⓜ金田裕治	仁部順行・吉開育子・中川達夫
議会改革特別委員会	Ⓜ金田裕治	Ⓜ仁部順行	明貝一平・吉開育子・小川雄司・東小夜子 中川達夫・大門久恭・小林健治・坂口 実
災害対策特別委員会	Ⓜ小川雄司	Ⓜ東小夜子	仁部順行・明貝一平・吉開育子・中川達夫 大門久恭・小林健治・金田裕治・坂口 実
議会広報委員会	Ⓜ金田裕治	Ⓜ大門久恭	明貝一平・吉開育子・東小夜子
監 査 委 員	中川達夫		
都市計画審議会	仁部順行・小川雄司・大門久恭・小林健治		
浅草共有山組合会議	仁部順行・明貝一平・坂口 実・大門久恭・		
泉佐野市田尻町清掃施設組合議会	吉開育子・小川雄司・東小夜子・金田裕治		
泉州南消防組合議会	小林健治・金田裕治		

※ Ⓜ 委員長 Ⓜ 副委員長

「データシティ鯖江」オープンデータの取り組みと市民協働の街づくり

総務建設常任委員長 坂口 実

去る1月31日福井県鯖江市へ行政視察で訪問した。鯖江市と言えば、めがねフレームで今や全国的に名の知れた生産地である。面積約85km²、人口約6万9千人、福井県内で唯一人口が増加し、地場産業は眼鏡、繊維、漆器のものづくりが栄え、データシティ鯖江の推進により、ITを4番目の産業へとIT精密機械業の進出があり、「住みよさランキング2017」全国7位の自治体である。

きっかけは、2010年に鯖江市民主役条例を制定、第10条「市は、積極的な情報公開や提供の運用を進め、市民との間で情報の共有化と活用」と定め、市は統計施設観光等150以上のデータをまず公開し、データシティ鯖江を提案した。

まちづくりとして、市民が公共の担い手＝新しい公共38事業。若者学生とともに、地域活性化プランコンテスト、JK（女子高生）課、OC（おばちゃん）課の参画。ITではオープンデータ、公共施設のWiFi化、電脳メガサミットなどを推進した。

鯖江市出身のキーマンとなるIT民間企業代表者との連携が拍車をかけ、アプリが約200種類作成された。そ

の中には、避難所位置ルート、消火栓、河川水位、橋梁データ、図書館、観光情報ルート、つつじバスモニターなど、リアルタイムに表示されるアプリが多くある。

最後に市は、今までの価値を見直し、成熟社会と急速なIT化へ対応し、市民協働オープンガバメントの意識を持ち、課題解決に未知に進化するITを活用することで、市の活性化や行政の効率化のループが限りなく継続している。



夢ある子ども育成事業 福井県越前市行政視察 文教厚生常任委員 委員長 中川 達夫

平成30年1月30日、「夢ある子ども育成事業」を学ぶため、福井県越前市にうかがいました。

越前市では、平成20年全国学力学習状況調査の結果、将来夢や目標を持っていると回答した子どもの割合が全国平均より低かったことを受け、同事業により日本サッカー協会が実施する「夢の教室」を行うことになりました。

「夢の教室」とは次代を担う子どもたちが、夢を持ち、夢に向かって努力することの大切さや素晴らしさについて学ぶことを目的とし、同市では平成21年度から実施しています。指導者（夢先生）はサッカー関係者や有名アスリートの方々で、自身の赤裸々な思い出とともに、困難をどう乗り越えてきたかを子どもたちに真摯に語ります。子どもたちはその中から、仲間の大切さ、夢を持つことの素晴らしさ、困難に負けない精神など、生きる上で大切なこと学んでいきます。

「夢や目標を高く持つようになった結果、子どもたちに現れた変化は？」との私たちの質問に対し、「夢先生

の失敗談や夢に向かって突き進む姿を見ることで、努力することの大切さ、素晴らしさを感じ、目の前にある課題に対してチャレンジする姿勢の児童、生徒が多くなりました。」との答えがありました。

今回の研修に参加し、私たちも改めて目標を持つことの大切さを学びました。

奇しくも昨年度、田尻町でも「夢の教室」が実施されており、越前市のような成果、効果が今後期待されるようです。



審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部 順行	明貝 一平	吉開 育子	小川 雄司	東 小夜子	中川 達夫	大門 久恭	小林 健治	金田 裕治	坂口 実
田尻町介護保険条例一部改正の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	×	○	○	×
平成30年度田尻町介護保険特別会計予算の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	×	○	○	×
田尻町国民健康保険条例一部改正の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

大阪府町村議長会より 永年在職議会議員表彰を受賞

町議会議員として議会活動を通じ地方自治の発展のために大きな役割をはたしていることを高く評価され、明貝一平議長と中川達夫議員が永年在職議会議員表彰を受賞されました。



中川達夫議員

明貝一平議長

この人に インタビュー

公益社団法人モーターボート ボートレーサー
うまの馬野 ひかる 耀さん (24)

Q ボートレーサーを目指したきっかけは？

A 学生時代から陸上部で社会人になってケガに苦しみ陸上選手としては厳しいと感じ、憧れていたボートレーサーになる決意をしました。

Q ボートレーサーになるまでの苦労は？

A ボートレーサーになる為の学校生活はかなり過酷で、卒業できる人も一握りで競争もあり、厳しかったです。

Q ボートレーサーになればケガも多い？

A ケガもつきものでレース中の転覆等で骨折することもあります。レースで勝ったりすると痛みも忘れるぐらいやりがいのある仕事です。

Q ボートレーサーとしての今後の目標は？

A グランプリファイナルを獲得ことです。



編集後記

この115号が、皆様のお手元に届くころ、暦は6月となっております。私たち現広報委員は、任期を終え、新しい広報委員が誕生していることでしょうか。任期中においては、いかに議会の情報を発信するか、議会活動を知っていただくか、悪戦苦闘の1年でありました。広報委員が変われども、「広報」の目的は変わりません。より多くの人に読んでいただき、より多くの人に議会のことを知っていただくため、議員一丸と

なって取り組んでまいります。結びに、わたくしたち現広報委員への温かいご支援に感謝申しあげ、編集後記とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

議会だより広報委員長 金田 裕治
副委員長 東 小夜子
委員 明貝 一平
委員 吉開 育子
委員 小林 健治